令和6年度　中堅教諭等資質向上研修（必修１－１）

教科指導法研修会（中・社会）に関する課題について

担当講師：後藤賢次郎（山梨大学）

　今回の研修では，これからの社会科教育において求められる教科指導に関する資質・能力を培うことを目標として，受講者の先生方とともに，日々の社会科の授業を振り返ってゆきたいと思います。そこで，以下の要領で課題に関する資料を作成していただき，授業実践の紹介をお願い致します。

【課題】

中学校社会科における「社会に開かれた教育課程」を意識した授業実践例の報告

* 1・2学期に実施予定の単元の中で，「社会に開かれた教育課程」を意識した一単元を構想・実践し，報告してください。
* 中学校社会科であれば，学年，内容，領域等は問いません。
* 今年度，社会科の授業を受け持たれていない場合，未実践の場合には，過去の実践や単元構想をご発表いただいたり，その単元に関する実践事例をはじめ文献等で調べたことをご報告いただいたりしても構いません。

【資料の作成要領】

* 授業実施記録（未実践の場合は学習指導案等）

　授業実践記録（下記形式を参考）を作成してください（印刷部数は参加者数＋3（後藤，保存用）でお願いします）。配布資料やワークシート，授業実践の説明や検討に必要と思われるもの（学習指導要領解説，教科書，副読本など）があれば，適宜それらも持参してください。また追加の資料として，授業実践の様子をビデオ等で撮影した場合は，パソコン，プロジェクター等を用意いたしますので，データをUSBメモリやDVD・CD-Rなどに記録したものをお持ちください。当日は，これらの資料をもとに，その実践を通して得られた成果と課題について，ご説明をお願いします。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科指導法研修会（中・社会）実践報告　〇〇中学校　お名前（　　　　　　　　）   1. 単元名・対象学年 2. 単元目標 3. 単元の評価基準 4. 「社会に開かれた教育課程」について   （1）「社会に開かれた教育課程」の捉え  ・先生のイメージやお考え，これまでに研修等で学んだことなどをお書きください。  （2）本単元における「社会に開かれた教育課程」への試み  ・（1）をもとに，本単元において試みた工夫や意識したポイントなどを書いてください。単元全体を文章化しても，次・時間ごとに箇条書きにしても構いません。   1. 単元の実際（〇時間扱い）   ・時間ごとに，その時間の学習活動と児童の主な発言や様子を記してください。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 次・時間 | 生徒の主な学習活動／教師の主な指示・発問 | 生徒の主な発言や様子 | 「社会に開かれた教育課程」への工夫・ポイント | |  |  | ・この項目は，未実践の場合はカットしてください。 | ・この項目は，工夫・ポイントがある時間のみ記入してください。 |  1. 実践を通した成果と課題   ・４（２）「試みた工夫や意識したポイント」に関して考察（なぜ，うまくいったか，難しかったか）を述べてください。  ・工夫点やポイント以外の成果や課題も自由にお書きください。  ・本単元だけでなく，社会科の授業全般についての疑問や悩みなどがありましたら書き加えてください。他の受講者の先生方と意見交換しましょう。 |

【当日の予定】

1. 日　　時：2024年9月24日（火）9:15～12:15（受付9:00～9:15）
2. 受　　付：山梨大学教育学部　M号館１階　M－12教室
3. 研修場所：山梨大学教育学部　LC号館1階　LC－14教室
4. 研修内容：受講者による実践報告（一人20～25分程度，受講人数によってはグループを作り，その中で発表していただきます）と研究討議
5. ご質問等：研修当日までに課題等について質問がありましたら，下記までお問い合わせください。

山梨大学教育学部　後藤　賢次郎（ごとう　けんじろう）

kgotoh@yamanashi.ac.jp